

世界の信頼を勝ち得た、
確かな技術

TCL®

谷川油化興業株式会社
TANIKAWA YUKA KOGYO Co., Ltd.



CONCEPT

企業理念

世界で通用する高品質の 石油化学製品を届けることを使命に

谷川油化興業株式会社は戦後間もない昭和24年(1949年)に創業して以来、自動車用化成品の分野においてさまざまな製品を供給しております。

海外からも注目され、創業間もない頃にU.S.A.MILSPECの指名を受けましたが、当時の日本では技術もさることながら原料も皆無でしたので、手探りの状態から研究を積み重ね、独自の技術開発を確固たるものにしました。昭和34年(1959年)には、石油化学精製用の蒸留塔を建設し積極的に石油化学製品の開発に乗り出しました。その結果、品質の高さはJIS規格の認定、さらに米国の規格にも合格いたしました。以来、高品質の製品を国内外のお客様に届けることを使命と考え、製品づくりに取り組んでまいりました。

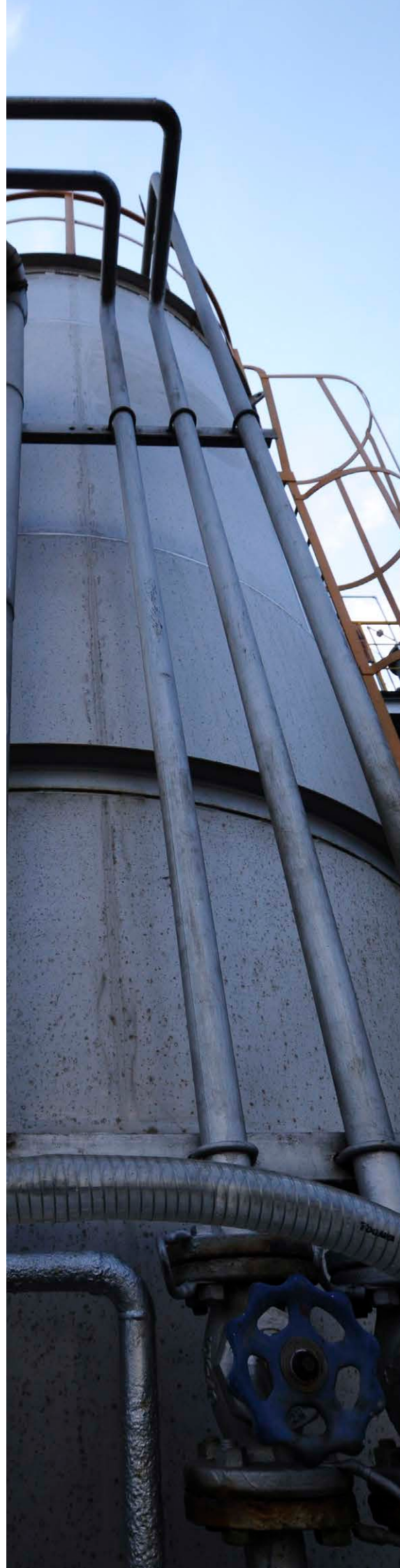
車社会の多様化にともない、今日では自動車用化成品への性能要求はますます高まりを見せています。私どもは世界市場において顧客満足度を限りなく追及するだけでなく、広がる需要、時代のニーズにお応えすべく、品質・価値の改善に励み、弛まぬ技術革新に邁進していきます。また、関連法令・規制を遵守し、特に環境負荷に配慮した製品づくりをいたします。



ブレーキフルードと不凍液ではJIS規格を認証取得し、ISO9001(2015)でも先述の2種とシャーシ塗装剤の認証取得。製造現場の作業は正規雇用された正社員のみが行ない、製品は徹底した品質管理の下で製造しています。



ブレーキフルード、不凍液、シャーシ塗装剤についてISO 9001認証取得済



COMPANY

会社情報

ご挨拶

当社は戦後間もない1949年に創業して以来、主に自動車用ケミカル製品分野において、アフター市場を中心に様々な製品を供給してまいりました。当時、審査の厳しかった米軍規格に合格し、技術開発の礎を築くとともに、環境対策が世界的な潮流になってきている中で、「時代のニーズを先取りする技術開発」をモットーに、高品質の製品を国内外のお客様に届けることを使命と考えて、製品作りに取り組んでいます。また、2014年に自動車アフターパーツの商社であるSPKのグループ企業になったことにより国内外の販路も拡大し、中長期的視野に立ち、事業展開を図る体制が強化されました。特に、SPKが得意としているスポーツパーツ分野にも進出したことにより、「どこにも真似のできない技術開発力」を発揮することが可能になりました。

<ビジョン>

ケミカルの新時代をリードする
新しい車の未来を科学する
安全・安心をかたちに
暮らしに寄り添う

今後も、製品性能の更なる向上を目指すとともに、21世紀を生きる企業として環境保全への意識を高め、循環型社会への責務を果たしてまいります。

代表取締役社長 小川 伸二

社風

「企業は人なり」と考え、仕事を目的に集まった者ひとりひとりの「人間形成の場」と考えています。

個々を尊重し、互いを信頼できる環境で、効率的・合理的経営のもと物事に取り組むことを主眼に活動しています。



COMPANY

企業情報

企業概要

[名称] 谷川油化興業株式会社

[本社・鶴見工場]

神奈川県横浜市鶴見区矢向1-13-11

TEL:045-581-6635(代表)

FAX:045-573-4347

[金沢工場]

神奈川県横浜市金沢区福浦1-10-10

TEL:045-784-1231(代表)

FAX:045-784-1232

[創立年月日] 昭和34年4月

[資本金] 3,000万円

[役員]

代表取締役社長／小川 伸二

取締役会長／藤井 修二

取締役／木村 彰良

取締役／上田 耕司

監査役／小河 昌史

[取引銀行]

りそな銀行 川崎支店

みずほ銀行 川崎支店

三菱東京UFJ銀行 川崎支店

主要納入先

SPK株式会社・株式会社エクセノヤマミズ・川崎鶴見臨港バス株式会社
・協同油脂株式会社・コマツ・昭光通商株式会社・静脈産業株式会社・
株式会社ソフト99コーポレーション・株式会社タニインターナショナル
・中央化成株式会社・株式会社デンソーセールス・東興化学株式会社・
株式会社東洋化学商会・株式会社東洋商会・日本グリース株式会社・防
衛省・三井物産ケミカル株式会社・その他

※50音順に記載

主要仕入先

株式会社イーグルスミコーポレーション・エアウォーターゾル株式会
社・葛飾製罐株式会社・協同油脂株式会社・国際製缶株式会社・昭光通
商株式会社・中央化成株式会社・椿化工株式会社・東洋エアゾール工業
株式会社・東洋製罐株式会社・日本ケミカル工業株式会社・ハリマ化成
株式会社・三井物産ケミカル株式会社・株式会社レンゴー・その他

TCL[®]



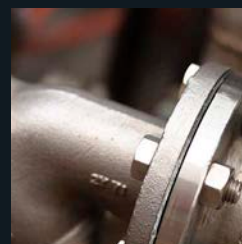
COMPANY

企業情報

当社は「TCL」ブランドを主軸に、オートケミカル用品のパイオニアとして、ブレーキフルードやロングライフクーラント、シャーシ塗装剤からウインドウォッシャー、レンタルリース用ケミカル、洗浄剤・ガラス研磨剤、添加剤など、幅広いラインナップを開発・製造しております。

沿革

- | | |
|----------|--|
| 1949年 5月 | 谷川油化研究所として発足。ブレーキフルード、不凍液製造に着手 |
| 1957年 6月 | 横浜市鶴見区矢向町に鶴見工場を新設 |
| 1959年 4月 | 谷川油化研究所として発足。ブレーキフルード、不凍液、谷川油化興業(株)を設立。蒸留設備を完備、ブレーキ液の原料生産から製品までの一貫作業体系を確立 |
| 1966年 3月 | ブレーキ液JIS K-2233、日本工業規格の表示工場、許可番号365294として認証を受ける |
| 1967年 3月 | 米国カリフォルニア州サクラメント市、農林省計量庁において許可番号1293のブレーキ液登録および販売許可を受ける |
| 1969年 9月 | 不凍液JIS K-2234、日本工業規格の表示許可工場、許可番号369137として認証を受ける |
| 1973年12月 | 米国運輸省規格、フォスター・D・スネール社より検査合格、認証を受ける |
| 1982年 5月 | 横浜市金沢区福浦1丁目10番10号に金沢工場を設立 |
| 1989年 7月 | 本社新社屋完成 |
| 1992年 4月 | ケース・コンサルティング・ラボラトリー社よりDOT3、DOT4、DOT5.1の検査合格、認証を受ける |
| 1995年 2月 | 本社工場を拡張 |
| 2001年12月 | 金沢工場、産業廃棄物処分業の許可を許可番号 第56-20-081343号として受ける |
| 2002年10月 | ブレーキフルード、不凍液、シャーシ塗装剤についてISO 9001(2000)認証取得、認証番号JCQA-1161 |
| 2006年 2月 | 毒物劇物一般販売業登録。登録番号 第151010004号 |
| 2008年 7月 | ブレーキ液JIS K-2233、日本工業規格表示 認証番号CE0308011および不凍液JIS K-2234、日本工業規格表示 認証番号CE0308012としてJISマーク表示認証をCERIより受ける |
| 2014年 2月 | SPK 株式会社が弊社の全株式を取得したことにより、SPKグループの一員となる。 |
| 2018年 8月 | 本社倉庫を拡張 |



BRAND

ブランド

TCL®

TCLブランド

TCLはTanikawa Chemical Laboratoryの頭文字をとった当社の主力ブランドです。

国内はもとより海外からも信頼される品質とリーズナブルな価格で、常に時代のニーズに先見性的に対応してきました。ブレーキ液、ロングライフクーラント、シャーシ塗装剤、クリーナー、潤滑、防錆、整備用品など幅広いニーズにお応えしています。



JIS K2233、K2234認証取得

JIS(Japanese Industrial Standards)とは日本工業規格のことです。

日本の工業標準化の促進を目的とする日本産業規格に基づき制定された工業製品に関する国家規格で、認可された製品にはJISマークが付けられます。



ISO9001 (2015) 認証取得 (ブレーキフルード、不凍液、シャーシ塗装剤)

ISO(International Organization for Standardization)とは、国際標準化機構のことです。

ISO9001は、企業などが顧客や社会が求める品質を備えた製品やサービスを届けるための仕組みについて「国際標準化機構(ISO)」が定めた世界共通の規格です。



ブレーキフルード、不凍液、シャーシ塗装剤についてISO 9001認証取得済

PRODUCTS

オートケミカル用品

ブレーキフルード



TCLブレーキフルードは、原料のグリコール、グリコールエステルの精製からブレーキ液完成品まで自社工場の一貫作業から生まれる、安全を追求した高信頼性製品です。米国の規格(FMVSS)をはるかに上回る高沸点を有し、JIS K2233規格にも当然合格する沸点降下の少ない最高級品ブレーキフルードなので、過酷な運転状況のもとでも安定した高性能を発揮します。

不凍液 (クーラント)

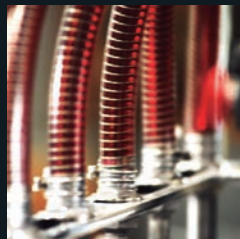


冷却システムに使われる熱媒体を一般的にクーラントといい、冬期の凍結や夏期のオーバーヒートが起こらないようにするためのものです。長期間サービスフリーで使用できる寿命の長い(ロングライフ)冷却液ということからLLC(ロングライフクーラント)と名付けられました。TCLロングライフクーラントは、JIS K 2234不凍液2種LLCに該当するJIS製品で、強力な冷却システム内部の防錆・防蝕性を保つ高性能・冷却水です。

シャーシ塗装剤



TCL独自の技術で開発した水溶性塗装剤。無公害で安心して作業ができます。



MANUFACTURING

製造施設



蒸留装置

高性能の蒸留装置によって、原料から製品までを一貫した体制で製造しています。近年では、精製物質がプレーキフルードや不凍液以外の分野でも広く製品化される傾向にあり、この蒸留塔で精製された高品質な原料は、石油化学工業界の注目を集めています。



生産ライン

会社創業以来改良を重ねてきた製造設備は、いずれも少人数で高い生産性を示しています。プレーキフルードと不凍液のラインでは配合と充填作業が行なわれ、月産650t以上が生産される工場は各種JIS表示許可工場の認証を受けています。



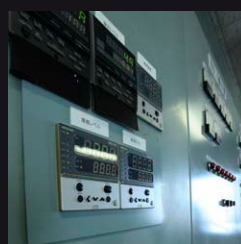
研究開発

原料精製から製品開発までの一貫したラインを確立し、研究開発に重点をおいて取り組んだ結果、自動車用化成品の分野において高い評価を得られるようになりました。ベースとなる技術力に加え、数々のノウハウを駆使し、常に時代を先取りした製品開発を目指しています。



流通

受注、生産、出荷までを、コンピューターによる総合管理を徹底することで、得意先に対し誠意をもって、迅速、的確な対応で優れた製品を提供しています。



BUSINESS

蒸留事業



有効成分含む価値ある 溶剤原料を活用するエコ事業

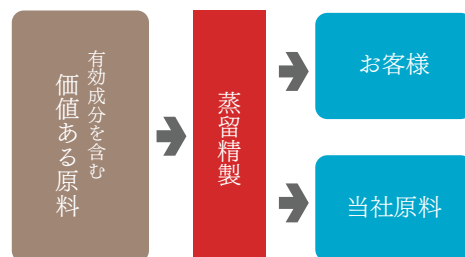
石油化学産業界のサプライチェーンの一環として、有効成分を含む価値ある原料溶剤を蒸留し、有効成分の含有量を高め、有効成分を原液よりもさらに広げて活用する蒸留事業を行っております。この事業により循環型社会の構築に貢献しております。

下記の図にありますように、お客様より有効成分を含む価値ある原料を購入して当社で蒸留精製し、当社で原料として使用し、また製品として市販しております。

エコロジーが地球規模の課題である現代において、環境負荷の少ない循環型社会を目指し、その一翼を担うべく積極的に活動しています。また原油高などにより石油製品の価格が高騰していますが、当社の蒸留事業では貴重な原料溶剤を活用することにより有効な化学成分の販売を行っております。

弊社蒸留設備からの製品をご利用いただくことで、有効化学成分を含む価値ある溶剤原料を更に広く活用して頂くことが出来ます。

蒸留の流れ



弊社精密蒸留装置概要

装置の種類：減圧精密蒸留装置
装置の材質：ステンレス（SUS304）
蒸留釜の容量：5,000L
蒸留塔の理論段数：30 段
処理能力：20 トン/日
真空度（操作圧力）：10～50 Torr
加熱源（熱媒ボイラー）：240～300℃

蒸留可能製品

- グリコール類
 - モノエチレングリコール（MEG）
 - ジエチレングリコール（DEG）
 - トリエチレングリコール（TEG）
 - テトラエチレングリコール（Tetra EG）
 - プロピレングリコール（PG）
 - ジプロピレングリコール（DPG）
 - トリプロピレングリコール（TPG）
- グリコールエーテル類
 - メチルジグリコールエーテル（MDG）
 - メチルトリグリコールエーテル（MTG）
 - ブチルジグリコールエーテル（BDG）
- その他
営業までご相談下さい。